



学校だより

「チーム中部中」



五校戦隊チュウブレンジャー

令和5年12月22日
令和5年度 第11号
文責
平戸市立中部中学校
校長 北野 憲

＜校訓＞ 自主 規律 責任

＜学校教育目標＞

ゆたかな心情 たしかな学力 たくましい心身

合言葉

凡事徹底

「当たり前」の積み重ねが本物になる

初志貫徹

令和5年度生徒会20-か

【がん教育講演会】

12月4日(月)に、社会医療法人財団 白十字会 地域包括ケア推進本部の講師の方をお招きし、本校体育館にて全学年を対象として「がん教育講演会」を実施しました。医療従事者による講演会の実施を通じて、がんに対する正しい理解とがん患者に対する正しい認識及び命の大切さに対する理解を深めることを目的として行いました。「自他の健康と命の大切さ」を演題とし、がんの治療法や緩和ケアのその選択、がんと向き合う・がんとともに生きること、暮らしやすい社会づくりなどについて、貴重なお話を聞くことができました。生徒たちは講話を通して、がんについての知識や生活習慣、医療とのつながりなどについて考えを深めることができました。



【生徒会役員選挙】

12月6日(水)に、本校体育館にて生徒会役員選挙における立会演説会を実施しました。生徒会会員としての自覚を高め、生徒の自治活動である生徒会活動を見直す機会とすることなどを目的として行いました。12月1日(金)から5日(火)まで、生徒玄関にて朝から立候補者と推薦責任者が大きな声で選挙運動をしていました。立会演説会では、推薦責任者と立候補者が生徒会活動における思いや期待、取り組みたいことなどを堂々と発表しました。生徒会役員選挙を通して、本校の生徒会活動がより充実していくことを楽しみにしています。



【アイマスク・車いす体験学習】

12月5日(火)に、平戸市社会福祉協議会の方を講師としてお招きし、1年生を対象とした「アイマスク・車いす体験学習」を実施しました。「身近な人権課題に関心をもち、他者を理解することにより、互いに違いを認め合い、支え合う態度を養うこと」、「車いすやアイマスクの介助を通して、ボランティアの技能を高め、『ともに生きる』ための実践力を身に付けること」を目的として行いました。



アイマスク体験では、折り紙を折ったり階段を昇降したりし、車いす体験では基本的な車いすの操作方法と介助の仕方について学ぶ中で、視覚情報についての理解や介助の大切さなどについて考えを深めました。



【人権集会】

12月8日(金)に、本校体育館にて中学校区の紐差小学校6年生と根獅子小学校5・6年生も参加して人権集会を実施しました。「人権課題に関心をもち、教職員・生徒が共に人権感覚を高める機会にする」「誰もが安心して生活できる学校生活をつくっていきこうとする心情と態度を養う」ことを人権教育の目的として行いました。集会前半は校長先生のお話、実行委員長の話、学年の発表(性の多様性についての学び)、人権宣言の流れで進めました。後半は「いろんな性について考えよう」を演題として、「Take it! 虹」の講師の方による講話、講師への質問、お礼の言葉で進めて会を終えました。



【2学期もあと少し】

2学期は修学旅行や文化祭など、多くの行事を実施しました。生徒の皆さんは、自分たちで考えて行動する中で多くの経験を積み、特に学年の絆を深めることができたと思います。皆さんの礼儀正しく、常に前向きに笑顔で頑張る姿は大変すばらしいです。4月と比べて、中部生としての一体感が高まっています。3学期は締めくくりの学期です。楽しかった、充実していた、この学年でよかったなどと皆が思えるように、自分と周りの人を大切にして過ごすことを期待しています。